

平成19年8月期 第3四半期財務・業績の概況(連結)



平成19年7月20日

上場会社名 株式会社プラップジャパン

(JASDAQ・コード番号：2449)

(URL <http://www.prap.co.jp/>)

代表者 役職・氏名 代表取締役社長 矢島 尚

問合せ先責任者 役職・氏名 取締役管理本部長 盛 典信 TEL：(03)3486-6831

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
(内容)
・税金費用の計上基準については、法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。
・その他影響額が僅少なものにつきましては、一部簡便的な手続きを用いて会計処理しております。
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
(内容)
・連結範囲及び持分法の適用の異動状況 : 連結(新規) 1社
・当社は、平成18年11月30日付けで、業務提携契約を締結していた北京普楽普公共関係顧問有限公司の株式の取得および増資により議決権の60%を保有し、北京普楽普公共関係顧問有限公司を連結子会社化いたしました。
・当第3四半期連結会計期間の連結財務諸表等に、北京普楽普公共関係顧問有限公司の平成19年1月1日から平成19年3月31日までの会計期間の財務諸表を連結合算しております。

2. 平成19年8月期第3四半期財務・業績の概況(平成18年9月1日～平成19年5月31日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年8月期第3四半期	3,082	(4.4)	314	(△19.3)	338	(△15.1)	186	(△12.9)
18年8月期第3四半期	2,952	(5.5)	389	(11.9)	398	(8.8)	214	(6.8)
(参考) 18年8月期	4,212		515		531		280	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年8月期第3四半期	39	91	—	—
18年8月期第3四半期	45	78	—	—
(参考) 18年8月期	59	90	—	—

(注1) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、前年同四半期に対する増減率であります。

(注2) 平成18年8月期及び平成18年第3四半期、平成19年第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期連結会計期間におけるわが国の経済は、原油価格の高騰と世界的な長期金利の上昇、米国経済の景気動向には留意する必要があるものの、企業収益は高水準で推移しております。また、設備投資も引き続き増加しており、個人消費が底堅く推移する中、雇用環境や雇用者所得についても改善が続くなど、全般的には緩やかな景気拡大傾向にあります。

PR業界におきましては、PR会社の認知度向上及び景気回復による企業の広報予算増加とあいまって、市場が拡大しております。企業・団体を中心にPRに対する関心及び需要が着実に高まってきており、PR会社各社はこれら潜在顧客獲得のため、国内外へ積極的に進出するなど、PRの活動地域を広げたり、同業他社と業務提携するなどにより業務拡大をする傾向が見られます。また、PRサービスの専門性や得意分野を明確にし、クライアントの広報戦略のニーズを効果的に絞り込むなどの傾向も見られます。

当社グループにおきましては、ヘルスケア企業、IT企業、食品企業などの既存クライアントに対する大型案件の獲得に注力いたしました。また、新規引き合いに対する受注の確実性を高めるなどして営業活動を展開いたしました。このような事業環境のなか、前期に受注が好調であったコミュニケーションサービス部門におきましては、PR活動業務だけではなくM&A及び金融PR関連分野のコミュニケーション活動や危機管理対応業務などのコンサルタント業務の受注が引き続き増加したこともあり増収となりました。この結果、コミュニケーションサービス部門の売上高は2,500百万円(前年同期比11.1%増)となりました。一方、クリエイティブサービス部門におきましては、当第3四半期連結会計期間末までは前年同四半期連結会計期間末に匹敵する大型案件のイベント業務及び編集制作業務の受注がなく減収となりました。この結果、クリエイティブサービス部門の売上高は581百万円(前年同期比17.0%減)となりました。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間の売上高は3,082百万円(前年同期比4.4%増)、経常利益は338百万円(前年同期比15.1%減)、第3四半期純利益は186百万円(前年同期比12.9%減)となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年8月期第3四半期	3,225	1,993	61.1	422 70
18年8月期第3四半期	2,997	1,788	59.7	382 23
(参考) 18年8月期	3,112	1,858	59.7	397 16

【連結キャッシュ・フローの状況】

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年8月期第3四半期	200	△240	△76	1,398
18年8月期第3四半期	408	△217	△50	1,512
(参考) 18年8月期	431	△241	△50	1,511

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

①財政状態の変動状況

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、2,336百万円と前年同四半期連結会計期間末に比べ37百万円の減少となりました。これは、有価証券が26百万円、たな卸資産が45百万円増加したものの、仕入債務の支払いが増加したことにより現金及び預金が126百万円減少したことなどが主な要因であります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、888百万円と前年同四半期連結会計期間末に比べ265百万円の増加となりました。これは、資金の効率的な運用を図ることを目的とした投資有価証券の取得により251百万円増加したことが主な要因であります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、875百万円と前年同四半期連結会計期間末に比べ6百万円の増加となりました。これは、未払法人税等が22百万円、仕入債務が50百万円減少したものの、未成業務受入金が58百万円増加したことが主な要因であります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、356百万円と前年同四半期連結会計期間末に比べ16百万円の増加となりました。これは、退職給付引当金及び役員退職慰労引当金の増加によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、1,993百万円と前年同四半期連結会計期間末に比べ204百万円の増加となりました。これは、自己株式の取得による15百万円の支出と前期利益処分による株主配当金60百万円の支払いにより減少したものの、北京普樂普公共関係顧問有限公司の子会社化にともなう少数株主持分21百万円が発生したこと、その他有価証券評価差額金7百万円の増加と四半期純利益186百万円の計上に伴い利益剰余金が増加したことが主な要因であります。

②連結キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、税金等調整前四半期純利益337百万円及び売上債権の減少額210百万円、投資有価証券の売却による収入139百万円等の要因により増加したものの、法人税等の支払額278百万円、たな卸資産の増加額123百万円、投資有価証券の取得による支出379百万円等の要因により、前第3四半期連結会計期間末に比べ114百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末は1,398百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結会計期間において営業活動で得られた資金は、主に売上債権の減少額210百万円、賞与引当金の増加額54百万円、税金等調整前四半期純利益337百万円が計上されたものの、法人税等の支払額278百万円とたな卸資産の増加額123百万円、仕入債務の減少額60百万円が生じたことにより、200百万円(前年同期は得られた資金408百万円)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結会計期間において投資活動に使用された資金は、主に、有価証券及び投資有価証券の売却による収入が149百万円あるものの、投資有価証券の取得による支出が379百万円生じたことにより、240百万円(前年同期は使用された資金217百万円)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結会計期間において財務活動に使用された資金は、自己株式の取得による支出が15百万円と配当金の支払額が60百万円生じたことにより、76百万円(前年同期は使用された資金50百万円)となりました。

3. 平成19年8月期第3四半期の配当状況(個別)

該当事項はありません。

4. 平成19年8月期の連結業績予想(平成18年9月1日～平成19年8月31日)

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通期	4,609	600	345

(参考) 1株当たり予想当期純利益(連結通期) 73円93銭

※ 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

[業績予想に関する定性的情報等]

平成19年8月期の業績見通しにつきましては、国内経済は引き続き堅調に推移しており、当社グループのPR活動業務の受注につきましても、新規引き合いが増加していることなどから、ほぼ計画通りに推移すると見込んでおります。

コミュニケーションサービス部門におきましては、受注が好調であったヘルスケア、IT、M&A及び金融PR関連分野のコミュニケーション活動や危機管理対応業務などのコンサルタント業務の受注増加が引き続き見込まれます。

クリエイティブサービス部門におきましては、既存クライアントの広報予算削減により新規予定業務が中止になるなどして、当第3四半期連結会計期間末までは当初の受注見込を下回っておりましたが、第4四半期において、人材サービス企業と外資系ヘルスケア企業などから大型案件のイベント業務や編集制作業務の受注があり、ほぼ計画通りに推移すると見込んでおります。

また、連結子会社化した北京普樂普公共關係顧問有限公司におきましては、日本を代表する大手上場企業の広報支援・代行業務を新規に獲得するなど好調に推移しております。

その一方で、人材の獲得と育成のための教育研修費及び採用費、戦略企画本部の新設に伴う人件費等の販売費及び一般管理費が増加することなども勘案し、現時点において平成18年10月19日に公表した上記の予想値に変更はありません。

○添付資料

四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結株主資本等変動計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書、外注、受注及び販売の状況

以上

1. 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成19年8月期 第3四半期末)		前年同四半期 (平成18年8月期 第3四半期末)		増 減		(参 考) 平成18年8月期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
(資産の部)								
I 流動資産								
1. 現金及び預金	1,518		1,644		△126		1,647	
2. 受取手形及び売掛金	493		498		△4		661	
3. 有価証券	26		—		26		10	
4. たな卸資産	207		161		45		84	
5. 繰延税金資産	40		40		0		42	
6. その他	50		32		18		28	
貸倒引当金	△0		△3		2		△1	
流動資産合計	2,336	72.4	2,374	79.2	△37	△1.6	2,472	79.5
II 固定資産								
1. 有形固定資産								
(1) 建物及び構築物	46		53		△7		50	
(2) 車両運搬具	7		11		△3		10	
(3) その他	48		51		△3		47	
有形固定資産合計	102	3.2	116	3.9	△13	△11.8	108	3.5
2. 無形固定資産								
(1) ソフトウェア	0		1		△0		0	
(2) 借地権	0		0		—		0	
(3) のれん	2		—		2		0	
無形固定資産合計	3	0.1	1	0.1	1	126.1	1	0.0
3. 投資その他の資産								
(1) 投資有価証券	468		217		251		236	
(2) 差入保証金	143		144		△1		144	
(3) 繰延税金資産	122		121		0		126	
(4) その他	48		21		26		21	
貸倒引当金	△0		△0		0		△0	
投資その他の資産合計	782	24.3	505	16.8	277	54.9	529	17.0
固定資産合計	888	27.6	623	20.8	265	42.6	639	20.5
資産合計	3,225	100.0	2,997	100.0	227	7.6	3,112	100.0

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成19年8月期 第3四半期末)		前年同四半期 (平成18年8月期 第3四半期末)		増 減		(参 考) 平成18年8月期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
(負債の部)								
I 流動負債								
1. 支払手形及び買掛金	372		423		△50		426	
2. 未払法人税等	38		61		△22		165	
3. 未成業務受入金	172		114		58		66	
4. 賞与引当金	112		113		△0		57	
5. 役員賞与引当金	—		13		△13		19	
6. その他	179		143		36		169	
流動負債合計	875	27.2	869	29.0	6	0.8	905	29.1
II 固定負債								
1. 退職給付引当金	81		78		2		83	
2. 役員退職慰労引当金	275		261		13		264	
固定負債合計	356	11.0	340	11.3	16	4.7	348	11.2
負債合計	1,232	38.2	1,209	40.3	23	1.9	1,254	40.3
(純資産の部)								
I 株主資本								
1. 資本金	470	14.6	470	15.7	—	—	470	15.1
2. 資本剰余金	374	11.6	374	12.5	—	—	374	12.1
3. 利益剰余金	1,111	34.4	921	30.7	189	20.6	987	31.7
4. 自己株式	△15	△0.5	△0	△0.0	△15	—	△0	△0.0
株主資本合計	1,940	60.1	1,766	58.9	174	9.9	1,832	58.9
II 評価・換算差額等								
1. その他有価証券評価差額金	29	0.9	21	0.8	7	34.9	25	0.8
2. 為替換算調整勘定	1	0.1	—	—	1	—	—	—
評価・換算差額合計	31	1.0	21	0.8	9	43.3	25	0.8
III 少数株主持分	21	0.7	—	—	21	—	—	—
純資産合計	1,993	61.8	1,788	59.7	204	11.4	1,858	59.7
負債及び純資産合計	3,225	100.0	2,997	100.0	227	7.6	3,112	100.0

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成19年8月期 第3四半期)		前年同四半期 (平成18年8月期 第3四半期)		増 減		(参 考) 平成18年8月期	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	増減率	金額	百分比
I 売上高	3,082	100.0	2,952	100.0	129	4.4	4,212	100.0
II 売上原価	2,284	74.1	2,165	73.3	119	5.5	3,144	74.7
売上総利益	798	25.9	787	26.7	10	1.4	1,067	25.3
III 販売費及び一般管理費								
1. 役員報酬	107		90		17		121	
2. 給与手当	133		87		45		125	
3. 賞与手当	12		7		4		26	
4. 賞与引当金繰入額	21		15		5		9	
5. 役員賞与引当金繰入額	—		13		△13		19	
6. 退職給付費用	1		1		0		2	
7. 役員退職慰労引当金繰入額	10		10		—		13	
8. 減価償却費	6		5		1		8	
9. その他	190		164		25		225	
販売費及び一般管理費合計	483	15.7	397	13.5	86	21.7	551	13.1
営業利益	314	10.2	389	13.2	△75	△19.3	515	12.2
IV 営業外収益								
1. 受取利息	4		1		3		1	
2. 受取配当金	2		0		1		2	
3. 投資有価証券売却益	15		4		11		8	
4. 経営指導料	0		1		△1		1	
5. その他	3		1		2		1	
営業外収益合計	26	0.9	9	0.3	17	186.7	16	0.4
V 営業外費用								
1. 為替差損	2		0		1		0	
2. その他	0		—		0		—	
営業外費用合計	2	0.1	0	0.0	1	347.1	0	0.0
経常利益	338	11.0	398	13.5	△60	△15.1	531	12.6
VI 特別利益								
1. 固定資産売却益	—		1		△1		1	
2. 貸倒引当金戻入益	—		—		—		1	
特別利益合計	—	—	1	0.1	△1	—	2	0.1
VII 特別損失								
1. 固定資産除却損	0		5		△4		5	
2. 事務所移転費用	—		11		△11		11	
特別損失合計	0	0.0	17	0.6	△16	△96.6	17	0.4
税金等調整前 四半期(当期)純利益	337	11.0	382	13.0	△45	△11.8	516	12.3
税金費用	149	4.8	168	5.7	△19	△11.4	236	5.6
少数株主利益	1	0.1	—	—	1	—	—	—
四半期(当期)純利益	186	6.1	214	7.3	△27	△12.9	280	6.7

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

3. 四半期連結株主資本等変動計算書

当四半期(自 平成18年9月1日 至 平成19年5月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年9月1日残高	470	374	987	△0	1,832
当四半期中の変動額					
剰余金の配当			△60		△60
四半期純利益			186		186
従業員奨励及び福利基金			△2		△2
自己株式の取得				△15	△15
当四半期中の変動額合計	—	—	123	△15	107
平成19年5月31日残高	470	374	1,111	△15	1,940

	評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等 合計		
平成18年9月1日残高	25	—	25	—	1,858
当四半期中の変動額					
剰余金の配当					△60
四半期純利益					186
従業員奨励及び福利基金					△2
自己株式の取得					△15
株主資本以外の項目の 当四半期中の変動額（純額）	3	1	5	21	26
当四半期中の変動額合計	3	1	5	21	134
平成19年5月31日残高	29	1	31	21	1,993

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

4. 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当四半期 (平成19年8月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成18年8月期 第3四半期)	(参 考) 平成18年8月期
区分	金額	金額	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	337	382	516
減価償却費	21	18	26
のれん償却費	0	—	—
退職給付引当金の増減額	△2	2	8
役員退職慰労引当金の増減額	10	10	13
賞与引当金の増減額	54	60	4
役員賞与引当金の増減額	△19	13	19
貸倒引当金の増減額	△0	△0	△1
受取利息及び配当金	△7	△1	△4
固定資産売却益	—	△1	△1
固定資産除却損	0	5	5
事務所移転費用	—	11	11
投資有価証券売却益	△15	△4	△8
売上債権の増減額	210	47	△115
たな卸資産の増減額	△123	△79	△2
仕入債務の増減額	△60	201	205
役員賞与の支払額	—	△18	△18
その他	66	△27	△44
小計	472	621	616
利息及び配当金の受取額	7	1	4
法人税等の支払額	△278	△214	△188
営業活動によるキャッシュ・フロー	200	408	431
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の預入れによる支出	△11	△11	△14
定期預金の解約による収入	—	12	12
有形固定資産の取得による支出	△13	△93	△95
有形固定資産の売却による収入	—	3	3
有価証券の取得による支出	△0	—	—
有価証券の売却による収入	10	—	—
投資有価証券の取得による支出	△379	△105	△136
投資有価証券の売却による収入	139	23	36
新規連結子会社の取得による収入	12	—	—
貸付金の回収による収入	0	0	0
敷金保証金の差入れによる支出	—	△62	△62
敷金保証金の回収による収入	1	26	26
事務所の移転による支出	—	△11	△11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△240	△217	△241
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
配当金の支払額	△60	△50	△50
自己株式の取得による支出	△15	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△76	△50	△50
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	3	—	—
V 現金及び現金同等物の増減額	△113	140	139
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,511	1,371	1,371
VII 現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	1,398	1,512	1,511

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

5. 外注、受注及び販売の状況

(1) 外注実績

(単位：百万円、%)

事業部門の名称	当四半期 (平成19年8月期第3四半期)		前年同四半期 (平成18年8月期第3四半期)		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
コミュニケーションサービス部門	497	54.7	466	49.5	31	6.7
クリエイティブサービス部門	411	45.3	475	50.5	△63	△13.4
合計	909	100.0	942	100.0	△32	△3.4

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

(単位：百万円)

事業部門の名称	当四半期 (平成19年8月期第3四半期)		前年同四半期 (平成18年8月期第3四半期)		比較増減	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
コミュニケーションサービス部門	2,708	990	2,359	865	349	124
クリエイティブサービス部門	1,201	980	804	568	397	411
合計	3,910	1,971	3,163	1,434	746	536

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

(単位：百万円、%)

事業部門の名称	当四半期 (平成19年8月期第3四半期)		前年同四半期 (平成18年8月期第3四半期)		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
コミュニケーションサービス部門	2,500	81.1	2,251	76.2	249	11.1
クリエイティブサービス部門	581	18.9	701	23.8	△119	△17.0
合計	3,082	100.0	2,952	100.0	129	4.4

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。